

新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル



令和2年12月1日

豊田市コンサートホール・能楽堂

公益財団法人豊田市文化振興財団

新型コロナウイルス感染症は私たちの生活を大きく変えました。しかし、新しい生活様式に基づく行動や、適切な感染予防対策によって、安全にイベント等が開催できるという考え方も示されています。劇場・ホールは特に多くの人が集まる施設ですが、当館では、安心して施設をご利用いただけるよう、公益社団法人全国公立文化施設協会が策定した「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改定版」に基づき、より具体的な感染予防対策のマニュアルを策定しました。施設利用の際には必ずご確認ください。

なお、本マニュアルの内容は、今後の感染の動向のほか、国の対策方針の変更や専門家の知見等により、必要に応じて適宜改定を行うものといたします。

【目次】

1. 施設利用における基本的な感染防止策	1
2. 公演開催における具体的な感染対応	2
(1) 事前調整	
(2) 事前周知・広報	
(3) 客席の配席（収容率）	
(4) 公演関係者に関する感染防止策	
(5) 来場者に関する感染防止策	
(6) 会場内での感染防止策	
(7) チケット販売、物販、展示等	
3. 感染拡大への防止策	10
4. 豊田市コンサートホール・能楽堂新型コロナウイルス感染防止策チェック表	11
5. 別紙 1～9	16

1 施設利用における基本的な感染防止策

すべての関係者に対し、以下基本となる感染防止策を周知するとともに、必要となる措置を講じてください。

- ① マスクの原則常時着用
- ② 手指の消毒や手洗いの徹底
- ③ 大声を出さないことの奨励、咳エチケット
- ④ 相互の社会的距離の確保
- ⑤ 換気の励行
- ⑥ 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限
- ⑦ 厚生労働省の接触確認アプリ（COCOA）の活用
- ⑧ 検温し、平熱と比べて高い発熱がある場合（※1）や下記の症状等に該当する場合には自宅待機等の対応をとる
 - » 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等の症状
 - » PCR 検査で陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - » 過去2週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合 等

（※1）補足 Q&A

Q：「検温を励行し、平熱と比べて高い発熱がある場合」とあるが、これまでの業種別ガイドラインで記載されていた「37.5度」以上のような目安となる体温はないのか？

A：本マニュアルにおいて、検温の結果を判断する目安として「平熱よりも高い発熱」としたのは、「37.5度」を超えない場合であっても、平熱より体温が高い者はリスクが高いとみなす趣旨です。この趣旨に合致するのであれば、例えば「37.5度以上または平熱より1度高い場合」などといった、一定の数値に基づく運用としていただくことは可能です。

2 公演開催における具体的な感染防止対策

公演を行う主催者は前記の基本的な感染防止策を踏まえるとともに、施設使用以前の練習や稽古段階からも同様に対策をしてください。個々の公演の内容等によりその必要性や水準が異なること等に鑑み、各公演ジャンルの統括団体等のより詳細なガイドラインも参照してください。

・クラシック音楽公演運営推進協議会（令和2年9月18日改定）
「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」

・緊急事態舞台芸術ネットワーク（令和2年9月18日）
「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」

・公益社団法人能楽協会（令和2年5月29日）
「能楽堂における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」

以下は公益社団法人全国公立文化施設協会が策定した「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改定版」を参考に、当館からの要請の例示として掲げるものです。

(1) 事前調整

公演主催者は、施設に利用申込みを行う時点、若しくは公演概要を検討する時点で、「接触感染のリスク」「飛沫感染のリスク」「施設の設備的な集客リスク」を踏まえ、以下を含む必要とされる実施概要について当館と協議してください。

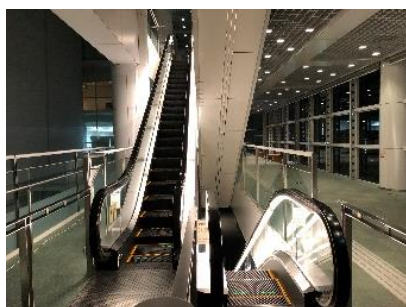
- ・予定されている公演におけるガイドラインを踏まえた防止策について、具体的な個々の措置と当館及び公演主催者側の役割分担を確認してください。
- ・仕込み・リハーサル・撤去において余裕あるスケジュールを設定してください。
- ・休憩時間や入退場時間は余裕を持った設定をしてください。
- ・来場者が多数（1,000人超）になることが見込まれる公演については、「愛知県新型コロナウイルス感染拡大予防対策指針」等に基づいて、実施の可否及び実施する際の必要となる感染予防策について対応を検討してください。
- ・大声での発声が伴わない利用については、会場の換気等、必要となる感染防止対策を総合的に講じた上で利用ください。一方で、条件が担保されない場合は密が発生しない程度の間隔（最低限人と人とが接触しない程度の間隔）を空けてください。
- ・公演を中止せざるを得ない事態に至った場合は、当館に連絡ください。

(2) 事前周知・広報

以下についてスタッフや出演者に周知するとともに、来場者に対しホームページ等でも公表してください。

- 基本となる8つの感染防止策（「1 施設利用における基本的な感染対策」の⑧）
- 来場時の密集回避のご案内
 - ①時間に余裕をもった来場
 - ②経路分散のためのエスカレーター及び階段を使用した来場
 - ③エレベーターの4名定員の厳守

エスカレーター



エレベーター



④中心市街地の「フリーパーキング加盟駐車場」の紹介（5時間フリーパーキング含む）
※詳しくは[豊田まちづくり(株)]のホームページ <http://www.fm-freeparking.com/> をご確認ください。

- 公益社団法人全国公立文化施設協会が策定した「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改訂版」に従った取り組みを行う旨

(3) 客席の配席（収容率）

- 来場者の配席については、原則として指定席にするなどして、主催者側で客席状況を管理調整できるようにしてください。
- 地域の感染の収束状況、公演の内容、上演時間、想定される観客層等を踏まえつつ、来場者による大声での歓声、声援、唱和等がないことを前提としうる公演については、必要となる感染防止対策を総合的に講じた上で、収容定員までの配席数（収容率100%以内 最前列席については下段記述参照。）とすることが可能です。
- 上記以外の公演については、マスク着用と発声の抑制の周知及び事業者による個別注意など必要となる感染防止策を総合的に講じた上で、原則として収容率を50%以内としてください。（異なるグループ間では座席を1席空けますが、親子等の同一グループ（5名以内）では座席間隔をあける措置は不要。すなわち、収容率は50%を超える場合もあり得る。）
- また、高齢者や持病のある方が多数来場すると見込まれる公演については、感染した場合の重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。

- 隣同士の配席とする際には、座席のひじ掛けの使用について、原則、左右いずれかに統一するように要請してください。
- 客席の最前列は舞台上から十分な距離を取ることとし（多目的ルームも含む）最低でも水平距離で2 m以上空けてください。それが困難な場合には、フェイスシールドの着用など距離を置くことと同等の効果を有する措置を講じてください。

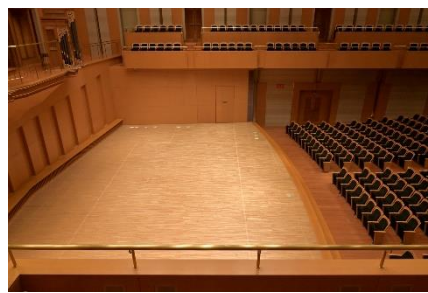
【コンサートホール】

客席最前列は舞台上から2 mの距離が確保できないためご利用できません。2 列目からご利用ください。（舞台上から2 列目までの最短水平距離は2 m 6 0 cm）

客席最前列①



客席最前列②



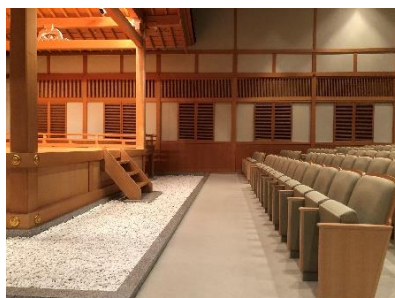
【能楽堂】

舞台上から最前列までの最短水平距離は3 mあります。

客席最前列①



客席最前列②



【多目的ルーム】

舞台と客席の境目がないため出演者と来場者との間隔を最低水平距離で2 m以上空けてください。

別紙1 多目的ルームで本番を伴う利用（一般）

- 声楽の場合は、歌唱位置から客席最前列までの距離は最低でも水平距離で5 m以上空けてください。これらが困難な場合には、^{しゃへいぼん}アクリル遮蔽版の設置など同等の効果を有する措置に努めてください。

別紙2 多目的ルームで本番を伴う利用（声楽）

(4) スタッフ・出演者に関する感染防止策

- 表現形態に応じて、出演者間で最低 1 m を目安とした十分な間隔をとるなど、可能な限り感染防止に努めるようにしてください。

別紙 3 コンサートホール・能楽堂の舞台利用

別紙 4 多目的ルーム・リハーサル室・板の間の練習利用

- 公演時の出演者を除き、施設内ではマスク着用を原則とし、公演前後や演目ごとに手指消毒を徹底してください。
- 楽屋、控室、板の間、リハーサル室、交流ロビー等でも不特定多数が触れやすい場所の消毒を定期的に行い、必要箇所に手指消毒用の消毒液を設置してください。

9 階楽屋 2



10 階控室 2



8 階板の間



9 階リハーサル室 2



8 階楽屋 3・4・5



9 階交流ロビー



- 楽屋は密にならないように定員を調整するとともに換気を励行ください。
- ケータリングにおいては、使い捨ての紙食器を使用するなど、感染防止対策を十分に講じてください。
- 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限してください。その他、練習・稽古や仕込み・撤去等においても十分な感染防止措置を講ずるようにしてください。
- 公演終了後の施設内での打ち上げ、茶話会等はお控えください。

(5) 来場者に関する感染防止策

- 来場前の検温の要請とともに、来場を控えてもらうケース（「1 施設利用における基本的な感染防止策」の⑧）を事前に十分周知し、その際に来場者ができるだけ不利益を被らず、有症状者の入場を確実に防止できるよう、状況に応じてチケットの振替や払戻等の対応策を講じてください。
- 来場者側の自己検温だけではなく、公演主催者側でも会場入場時に検温等の対策を講じてください。
- 当館は「非接触型温度計」「大型モニター付きサーモグラフィー」を配備していますので、使用を希望する場合はお申し出ください。ただし、数（台数）には限りがあります。
- 平熱と比べ高い発熱を感知した場合は入場の制限をするとともに、以下の資料の配布を推奨します。

別紙5 発熱等の症状がある方の受診・相談について

非接触型温度計



大型モニター付きサーモグラフィー



- 入退場時の密集回避のため、時間差の入退場や導線の確保、人員の配置等を行うことにより、十分な距離（最低1m）の間隔を保持して下さい。
- 公演後の出待ちや面会等は控えるように注意喚起してください。
- チケットシステム等の活用により、来場者の氏名及び緊急連絡先の把握に努めてください。自由席の場合は、以下の様式を使用するなどして着席場所を特定してください。また、来場者に対して、こうした情報が来場者から感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。

別紙6 「来場者連絡先登録フォーム」 または 「来場者確認票」

- 公演中の携帯電話等の抑制案内は、接触確認アプリ(COCoA)の作動を妨げないように「マナーモード」設定を推奨します（携帯電話抑制装置の使用は作動には干渉しません）。
- 配慮が必要な来場者（障がい者や高齢者等）については事前に対応策を検討してください。
- 交通機関・飲食店等の分散利用等の公演前後の感染防止について注意喚起してください。

(6) 会場内での感染防止策

① 接触感染防止策

- 公演主催者は、会場内の不特定多数が触れやすい場所（以下リスト参照）の消毒を定期的に行ってください。なお、実施する際は、当館でご用意する消毒セットをご使用ください。

別紙7 新型コロナウイルス対策消毒部位リスト

- 会場の出入り口付近（8 階～10 階エレベーター付近のアトリウム）及びホール内ロビー等に手指用の消毒液を設置しています。詳しくは以下の図を参照してください。

別紙8 施設が講じる感染対策図

手指消毒液（10 階アーティストロビー）



手指消毒液（8 階アトリウム）



ナッジの表示（8 階アトリウム）



- 上記以外で消毒液の設置が必要な場合は公演主催者でご用意ください。
- 物品を介した接触感染を防止するため、入場時のチケットもぎりの簡略化（来場者が自らもぎって箱に入れ、主催者は目視で確認する）等を検討してください。
- チラシ・パンフレット・アンケート等の手渡しは極力避けてください。また、避けられない場合には手袋の着用を徹底してください。
- 公演後の面会等、公演関係者と来場者の接触は控えるように周知してください。
- プレゼントや差し入れサイン会等は控えてください。
- 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限してください。
- 来場者や関係者等、それぞれの立入り可能エリアを限定（来場者が楽屋エリア等に立ち入ること等を制限）してください。

② 飛沫感染防止策

公演の内容等によりますが、原則的には来場者は公演中、一方向を向き会話等が想定されないことから、公演中もマスク着用を徹底することにより、一定の感染抑制が可能となります。加えて休憩時間や入退場時に密集が発生しないように対策を講じてください。また、大声を出すものがいた場合は、個別に注意等を行ってください。

【スタッフ・出演者⇔来場者間の感染防止策】

- 感染リスクが高まるような演出（声援を求める、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする 等）は控えてください。
- 来場者の案内や誘導に際しては十分な間隔（最低 1 m）を取るとともに、マスク着用に加え必要に応じてフェイスシールド等を着用してください。
- 来場者と接する窓口（招待受付、当日券窓口）等では、アクリル板や透明ビニールカーテン等の間仕切りを設置し、来場者等との間を遮蔽してください。

案内誘導（能楽堂入口）



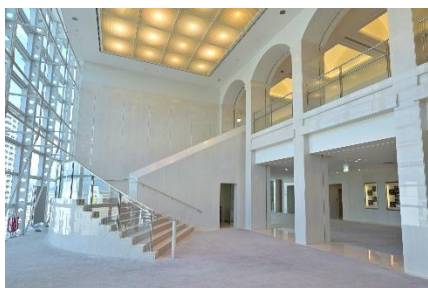
販売窓口



【来場者⇔来場者間の感染防止策】

- 会場内ではマスク着用を必須とし、未着用来場者に対しては配布や販売等、また個別に注意等を行うことにより着用を徹底してください。
- 休憩時間や入退場時間は、会場の収容人数や収容率、入退場経路等を考慮し、余裕ある時間を設けてください。
- 休憩時間や入退場時には会話抑制を周知するとともに、ロビー等での近距離における対面での会話や滞留を抑制するように促してください。スペースを確保するために 9 階交流ロビーの利用を推奨します。

コンサートホールロビー（10階）



能楽堂ロビー（8階）



交流ロビー（9階）



- ・休憩時間や退場時の客席からの移動に際しては券種やゾーンごとの時間差とし、滞留を抑制してください。特に退場時は、ロビーやエレベーター（定員4名）周辺の混雑が予想されますのでエスカレーターや階段の利用を推奨してください。また、参合館（当館入居ビル）においても他施設の来場者に向けて混雑が予想される旨の案内看板を掲示するなどの配慮をお願いすることがあります。

参合館外観



参合館 1 階①



参合館 1 階②



- ・休憩時間のトイレでは十分な間隔（最低1m）を空けた整列を促してください。
- ・会場内での食事は、長時間マスクを外すことが想定されますので控えてください。

(7) チケット販売、物販、展示等

- ・現金の取扱いをできるだけ減らすため、オンラインでのチケット販売や、キャッシュレス決済を推奨します。
- ・物販に関わる関係者は、マスクの着用に加え、必要に応じて手袋やフェイスシールド等を着用してください。
- ・多くの者が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わないでください。
- ・オペラグラス等の貸出物について十分な消毒を行うとともに、十分な消毒が行えない場合は貸し出しを行わないようにしてください。
- ・ロビーを使用する催し（パネル等を使用した展示・物販・アンコール曲の掲示等）は、来場者数の収容人数や収容率、休憩時の経路などを考慮し、監視員などを置いて滞留を制御できるように努めてください。

3 感染拡大への防止策

当館は、感染者が発生した場合に備えて、豊田市及び豊田市保健所との連絡体制を整えています。また、発生の際には保健所等の公的機関による聞き取りに必要な情報を提供し、保健所の判断により消毒命令が発せられた際には必要箇所の消毒を実行します。公演主催者は、感染が疑われる者がいた場合は速やかに当館に連絡し、対応を協議してください。

- 公演主催者は、スタッフ及び出演者、来場者等について、可能な範囲で氏名及び緊急連絡先を把握し、作成した名簿を一定期間（概ね1ヶ月間）保持するように努めてください。（必要に応じて以下の様式をご活用ください。）
また、こうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。

別紙9 関係者検温・体調管理表

別紙6 「来場者連絡先登録フォーム」 または 「来場者確認票」（再掲）

- 個人情報の保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講じ、期間経過後は適切に廃棄してください。
- また、発生した感染者等（含む同居者等。）の情報は要配慮個人情報となるため、その取扱に十分注意してください。
- 当館では、施設内で来場者等から体調不良が訴えられた際の対応について、換気の良い救護室（一時的隔離）や対応する際のフェイスシールド・手袋等の備品を準備していますので、必要に応じてご相談ください。

当マニュアルに沿った感染防止策を徹底していただくため、以下のチェック表をご利用時までにご提出ください。

豊田市コンサートホール・能楽堂新型コロナウイルス感染防止策チェック表

※当館ホームページから上記のチェック表及び別紙1～9までの資料がダウンロードできます。 <http://www.t-cn.gr.jp/>

豊田市コンサートホール・能楽堂新型コロナウイルス感染防止策チェック表

※内容を確認の上、該当する項目にチェックを入れてください。

※ご来館時（打合せなど）にご持参ください。

内 容	本番利用 チェック	練習利用 チェック
1. 施設利用における基本的な感染防止策		
すべての関係者に対し、基本となる8つ感染防止策を周知するとともに、必要となる措置を講じている	☐	☐
2. 公演開催における具体的な感染防止対策		
（1）事前調整		
①各公演ジャンルの統括団体等が作成したガイドラインの確認	☐	☐
②予定する催しにおけるガイドラインを踏まえた上での具体的な個々の措置と当館及び公演主催者との役割分担の確認	☐	☐
③仕込み・リハーサル・撤去（施設の消毒時間含む）において余裕あるスケジュールの設定	☐	☐
④休憩時間や入退場時間の余裕をもった設定	☐	☐
⑤来場者が多数（1,000人超）になることが見込まれる公演は「愛知県新型コロナウイルス感染拡大予防対策指針」等に基づいて実施の可否及び実施する際の必要となる感染予防策について対応を検討	☐	
⑥大声での発声が伴わない利用については、会場換気等、必要となる感染防止策を総合的に講じた利用若しくは、条件が担保できない場合の密が発生しない程度の間隔を空けた対策	☐	☐
⑦公演を中止せざるを得ない事態に至った場合の当館への連絡の想定	☐	☐
（2）事前周知・広報		
①来場時の密集回避の案内 （時間に余裕をもった来場、経路分散の来場、エレベーターの4名定員の厳守、中心市街地の「フリーパーキング加盟駐車場」の紹介）	☐	☐
②（公財）全国公立文化施設協会が策定した「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改定版」に従った取り組みを行う旨の周知	☐	

(3) 客席の配席 (収容率)		
①主催者側での客席状況の管理や調整 (原則として指定席)	☐	
②収容率 100%の場合 地域の感染の収束状況、公演内容、上演時間、想定される観客層等を踏まえつつ、来場者による歓声、声援、唱和等がないことを前提とする公演	☐	
③収容率 50%の場合 ②以外の公演で、マスク着用と発声の抑制の周知及び個別注意など必要となる感染防止策を総合的に講じた公演	☐	
④高齢者や持病のある方が多数来場すると見込まれる公演については感染リスクが高いことから、より慎重な対応を検討	☐	
⑤隣同士を配席とする際の座席ひじ掛けの使用について、原則、左右いずれかに統一するように要請	☐	
⑥舞台から客席は十分な距離を確保	☐	
(4) スタッフ・出演者に関する感染防止策		
①出演者間で最低 1mを目安とした十分な間隔の確保	☐	☐
②公演時の出演者を除き、施設内でのマスク着用の原則と公演前後や演目ごとの手指アルコール消毒の徹底	☐	☐
③楽屋など不特定多数が触れやすい場所の消毒や、必要箇所への手指アルコール消毒液の設置	☐	☐
④楽屋などが密にならないための定員調整や換気対策	☐	☐
⑤ケータリングの感染対策 (使い捨て紙食器の使用など)	☐	☐
⑥機材、備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定多数の共有を制限 (練習、稽古、仕込み、撤去などにおける十分な感染防止対策)	☐	☐
⑦公演終了後の施設内での打ち上げ、茶話会などの制限	☐	

（５）来場者に関する感染防止策		
①状況に応じたチケットの振替や払戻等の対策	☐	
②公演主催者側での会場入場時における検温等の対策	☐	☐
③発熱を感知した場合（平熱と比べて高い発熱がある場合）の入場制限の対策	☐	☐
④時間差の入退場や動線の確保、人員の配置など、十分な距離（1 m）の間隔を保持できる対策	☐	☐
⑤公演後の出待ちや面会等制限の注意喚起		
⑥来場者の氏名及び緊急連絡先の把握（自由席の場合の対策含む）	☐	
⑦配慮が求められる来場者（障がい者や高齢者等）についての対策	☐	
⑧公演前後の感染防止についての注意喚起（交通機関、地域飲食店等の分散利用等）	☐	☐
（６）会場内での感染防止策		
【接触感染防止】		
①会場内の不特定多数が触れやすい場所の定期的な消毒体制	☐	☐
②手指用消毒液の設置場所の確認	☐	☐
③入場時のチケットもぎりの簡略化	☐	
④チラシ、パンフレット、アンケート等の手渡し中止（避けられない場合は手袋の着用を徹底）	☐	
⑤公演後の面会等、公演関係者と来場者の接触制限の周知	☐	
⑥プレゼントや差し入れ、サイン会等の制限	☐	
⑦機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定多数による共有の制限	☐	☐
⑧来場者や関係者等、それぞれの立入り可能エリアを限定	☐	

【飛沫感染防止】		
【スタッフ・出演者⇔来場者間の感染防止】		
①感染リスクが高まるような演出の制限 (声援を求める、来場者をステージに上げる、ハイタッチ等)	☐	
②来場者の案内や誘導に際しては十分な間隔(最低 1m)を取り、 マスク着用に加え必要に応じてフェイスシールド等を着用	☐	
③来場者と接する窓口(招待受付、当日券窓口)等では、アクリル 板や透明ビニールカーテン等の間仕切りを設置	☐	
【来場者⇔来場者間の感染防止】		
①会場内でのマスク着用を必須とし、未着用来場者に対しては配 布、販売、また個別に注意等を行うことで着用を徹底	☐	
②休憩時間や入退場時間については、会場の収容人数や収容率、入 退場経路の経路を考慮した余裕のある時間を設定	☐	
③休憩時間や入退場時における会話抑制や、ロビー等での近距離に おける対面での会話や滞留の抑制を周知	☐	
④休憩時間や退場時の客席からの移動に対する滞留制御の対策(退 場時のロビーやエレベーター周辺など混雑が予想される場所 でのエスカレーターや階段利用の促進案内等)	☐	
⑤トイレでの十分な間隔(最低 1m)を空けた整列の案内	☐	
⑥会場内での食事の制限	☐	
(7) チケット販売、物販、展示等		
①チケット販売時の現金取り扱いの対策(オンライン販売、キャッ シュレスなどを推奨)	☐	
②物販や招待受付、当日券販売を行う場合は、その窓口にあクリル 遮蔽版等を設置し、関係者はマスクの着用に加え、必要に応じて 手袋やフェイスシールド等を着用	☐	
③サンプル品・見本品の未設置	☐	
④オペラグラス等の貸出物がある場合は、十分な消毒を実施(十分 な消毒が行えない場合は貸出不可)	☐	
⑤ロビーを使用する催しは、来場者数の収容人数や収容率、休憩時 の経路などを考慮し、監視員などを置いて滞留を制御	☐	

3. 感染拡大への防止策		
①公演主催者は、スタッフ及び出演者、来場者等について、可能な範囲で指名及び緊急連絡先を把握	☐	☐
②①で作成した名簿は一定期間(概ね1ヵ月間)保持するとともに、必要に応じて保健所等へ提供されることを事前に周知	☐	☐
③個人情報の保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講じ、期間経過後は適切に廃棄	☐	☐
④新型コロナウイルス感染症を発症した感染者等(含む同居者等。)の情報は要配慮個人情報となるため、その取扱いに注意	☐	☐

豊田市コンサートホール・能楽堂を使用するにあたり、本マニュアルを確認の上、新型コロナウイルス感染防止に努めます。

団体名	_____
利用日	_____
代表者	_____
記入者	_____

《豊田市コンサートホール・能楽堂 確認欄》	
担当者	_____
確認日	_____
許可番号	_____

多目的ルームで本番を伴う利用（一般）

【舞台として使用する空間について】

- ・客席と奏者間は最低 2 m 以上空ける。若しくは、アクリル^{しゃへいばん}遮蔽版の設置など同等の効果を有する措置を講じること。
- ・奏者間は 1 m 以上空ける。若しくは、同等の効果を有する措置を講じる。

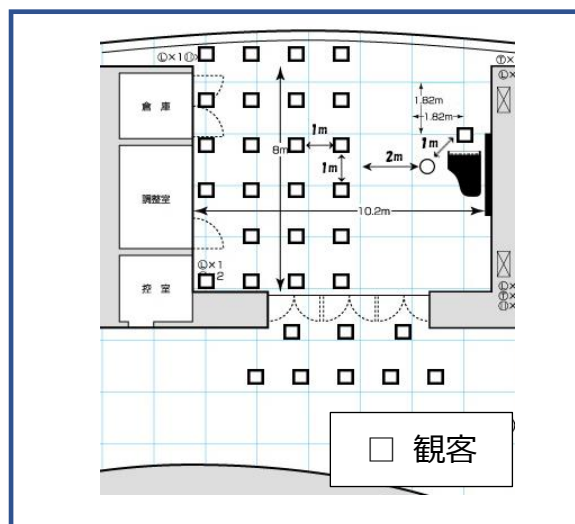
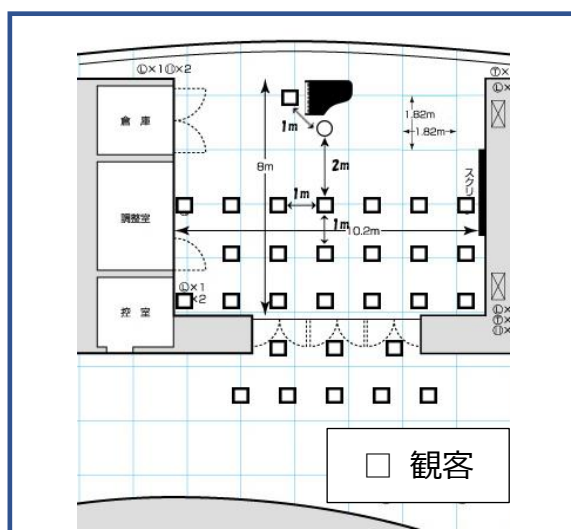
【来場者の使用する空間について】

- ・客席と客席間は最低 1 m 以上空ける。若しくは、大声で歓声・声援のないクラシック等の公演等
は必要となる感染対策を総合的に講じた場合は客席の間を通常どおりの間隔で配置することが
可能。

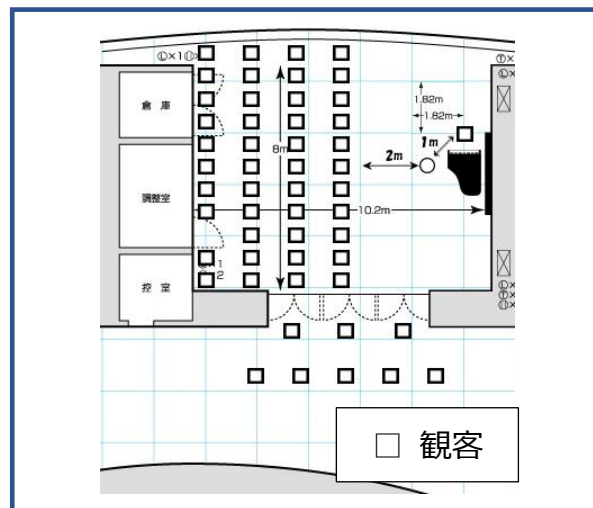
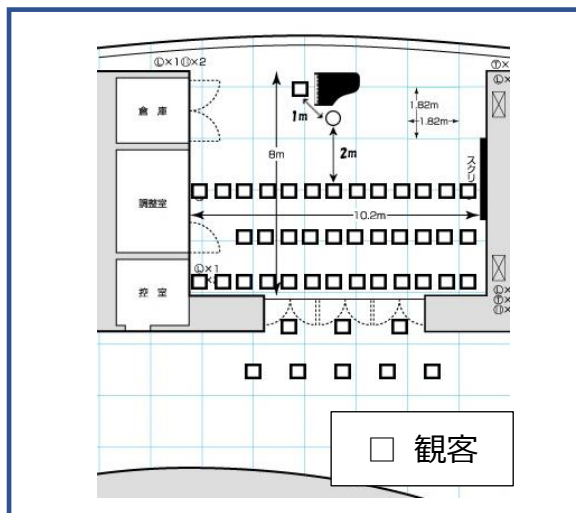
【換気対策について】

- ・交流ロビーや多目的ルーム入口の扉は常時空けておくこと（推奨）

参考《客席を 1 m 空けたパターン》



参考《客席を空けないパターン》



別紙 2

多目的ルームで本番を伴う利用（音楽）

【舞台として使用する空間について】

- ・歌唱位置から客席まで最低 5 m 以上空ける。若しくは、アクリル^{しゃへいばん}遮蔽版の設置など同等の効果を有する措置を講じること。
- ・複数の歌手が出演する場合は間隔を最低 2 m 以上空け、向かい合うスタイルや移動する演出は避けること。

【来場者の使用する空間について】

- ・客席と客席間は最低 1 m 以上空ける。若しくは、大声で歓声・声援のないクラシック等の公演等
は必要となる感染対策を総合的に講じた場合は客席の間を通常どおりの間隔で配置することが可能。

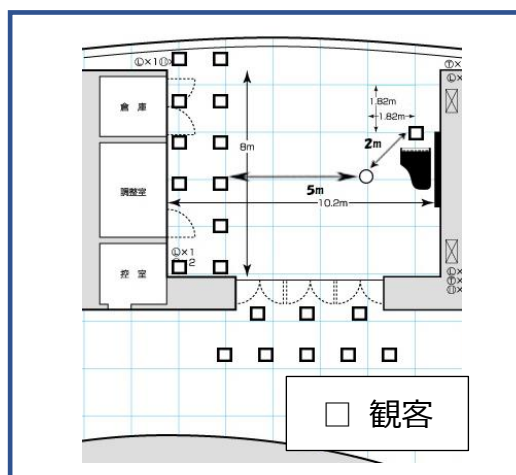
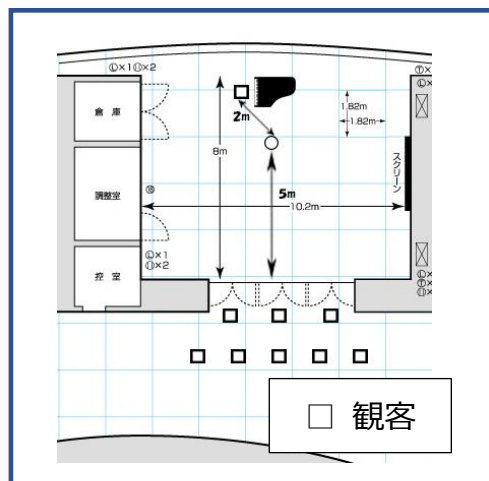
【換気対策について】

- ・交流口ビーや多目的ルーム入口の扉は常時空けておくこと。（推奨）

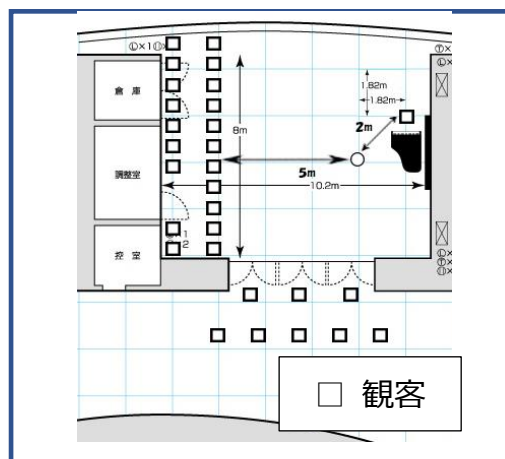
《合唱・オペラについて》

- ・適切な感染予防対策の在り方を関係ガイドラインにて協議中につき、開催については適宜を得た判断を要するものとします。

参考《客席を 1 m 空けたパターン》



参考《客席を空けないパターン》



【舞台上について】

- ・舞台上のスペースに対して出演者間の十分な距離が取れる演目・プログラムを検討すること。
- ・公演形態における感染予防対策は以下の項目を検討すること。
鍵盤楽器、管弦打楽器（ソロやデュオから室内楽、吹奏楽、オーケストラについても含む。）
 - ①ソロやデュオ～室内楽すべての演奏者は十分な間隔（最低 1 m）を保持すること。
 - ②舞台上の演奏者の位置から客席最前列までの距離は最低でも舞台から水平距離で 2 m 以上空ける。若しくは、アクリル遮蔽版しゃへいばんの設置など同等の効果を有する措置を講じること。
 - ③舞台上に多くの演奏者が出演する吹奏楽、オーケストラ等の場合は以下の点に留意すること。
 - ア 指揮者と演奏者との距離を 2 m 以上空ける。
 - イ 金管楽器は前方の演奏者と距離を最低 1.5m 以上空ける。
 - ウ 演奏上又は表現上の理由により演奏者間を従来の間隔で演奏する場合は、「舞台上の換気」「練習時に楽器用マスク、アクリル遮蔽版」「リードの飛沫対策」など複数の手法を組み合わせ、感染リスクを下げるように努める。
 - ④指揮者・演奏者は舞台上で会話をする際はマスク着用、若しくは 2 m 以上の距離を保持すること。
- ・能楽堂の場合、演者間は十分な間隔（最低 1 m）を保持する。若しくは、演目や表現上の理由により従来どおりで催す場合は上記③と同等の対策を行い感染リスクを下げるように努めること。

《声楽について》

- ・客席と奏者間は最低 2 m 以上空け、歌唱位置から客席まで最低 5 m 以上空ける。若しくは、アクリル遮蔽版しゃへいばんの設置など同等の効果を有する措置を講じること。
- ・複数の歌手が出演する場合は間隔を最低 2 m 以上空け、向かい合うスタイルや移動する演出は避けること。

【換気対策について】

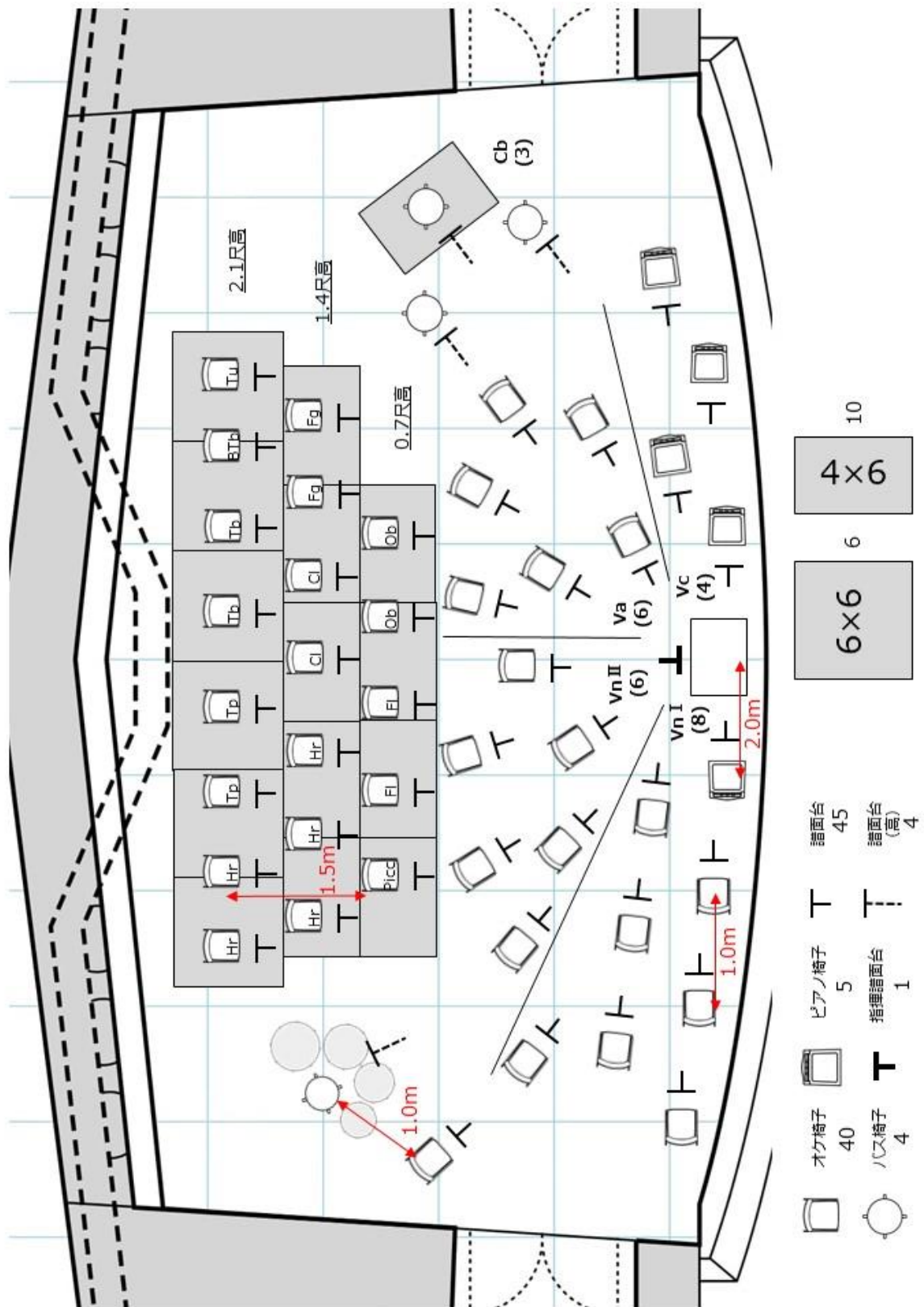
- ・舞台の入場扉（上手扉、下手扉）は常時空けておくこと。（推奨）

《合唱・オペラについて》

- ・適切な感染予防対策の在り方を関係ガイドラインにて協議中につき、開催については適宜を得た判断を要するものとします。

参考 コンサートホール舞台《吹奏楽、オーケストラ》

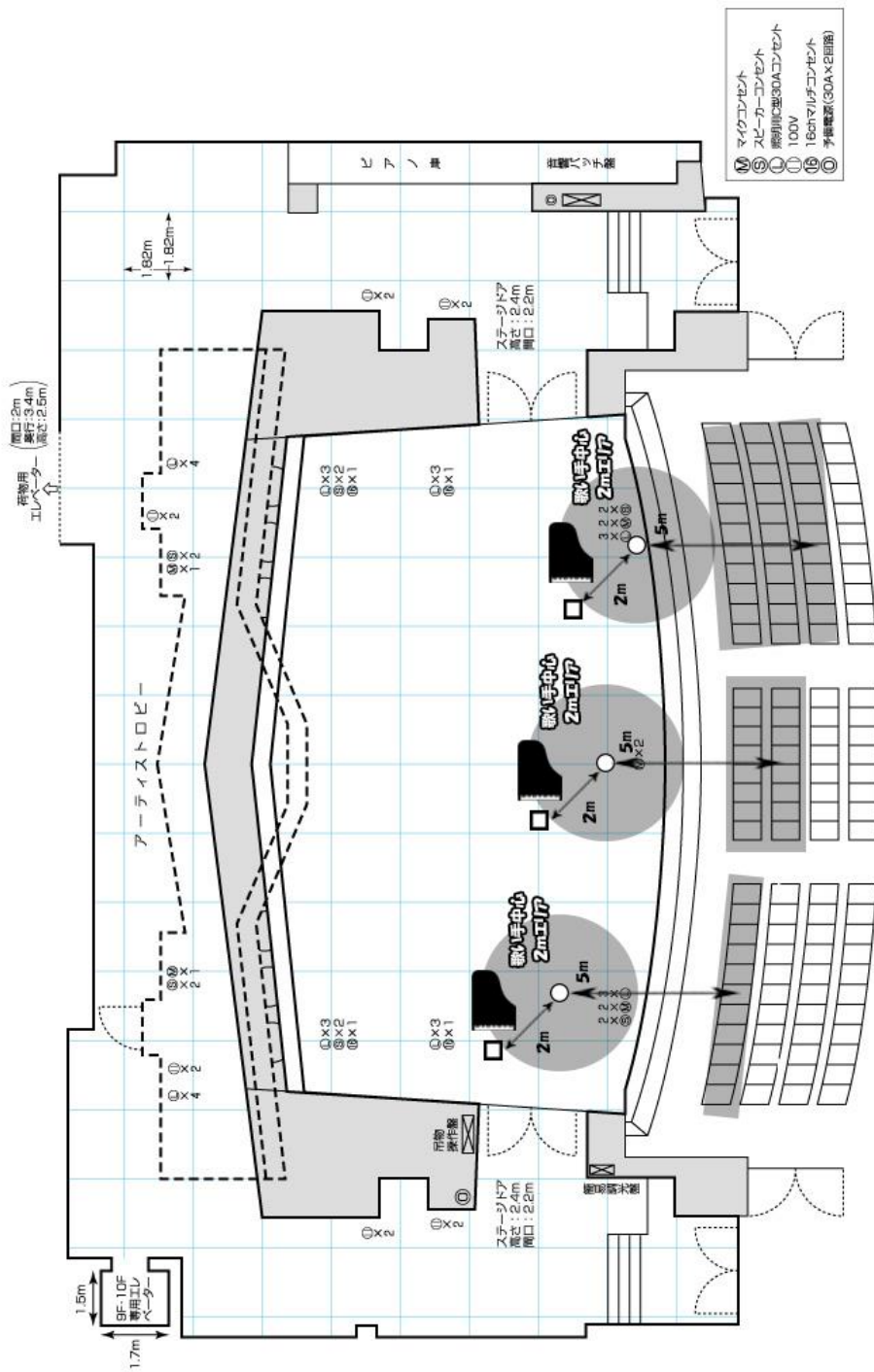
ソーシャルディスタンスを考慮した舞台配置図の例



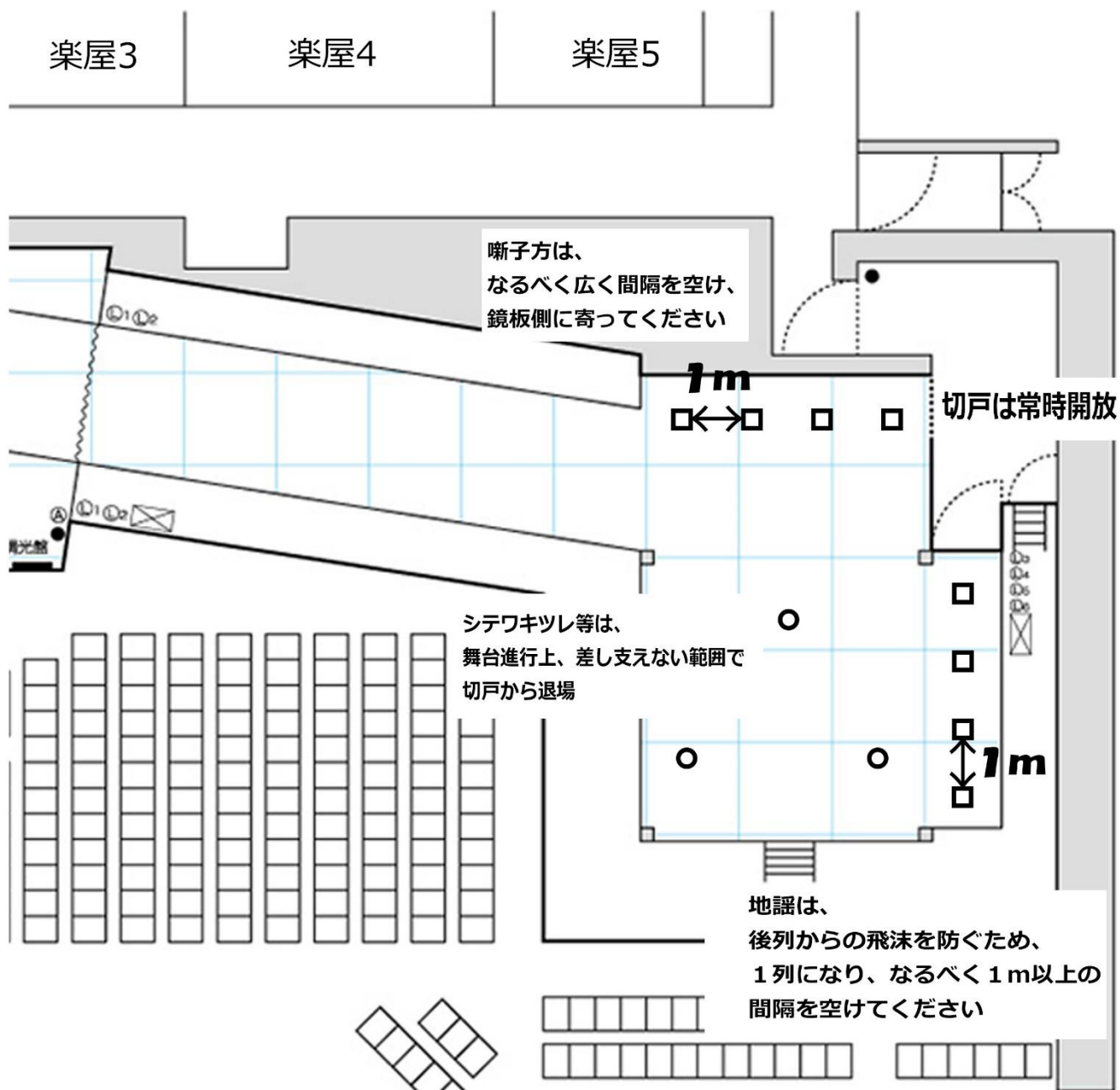
参考 コンサートホール舞台《声楽》

図 4 数値データ入力画面

※点線部は11Fパイプオルガンバルコニー部分
※アーテistroビーの最低天井高2.3m



参考 能楽堂本舞台《能》



別紙 4

多目的ルーム・リハーサル室・板の間の練習利用

【指導者の空間について】

- ・指導者は対面での指導は避け、対面の場合は生徒と最低 2 m 以上空けること。
若しくは、^{しゃへいばん}アクリル遮蔽版の設置など同等の効果を有する措置を講じること。
- ・指導者間についても同等の対応を講じること。

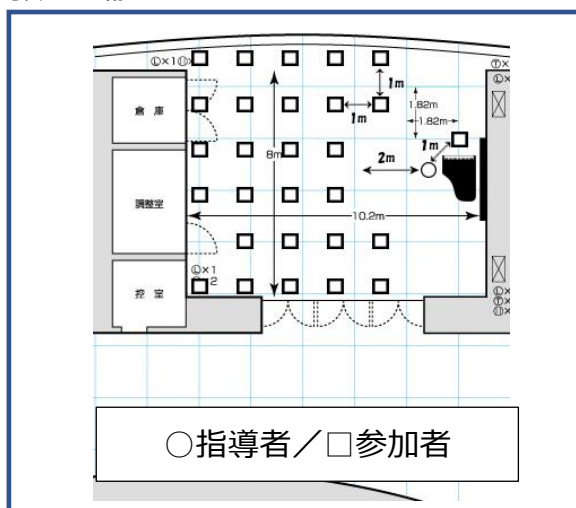
【参加者の空間について】

- ・参加者間は最低 1 m 以上空ける。但し、一定方向を向いて行う場合は特に間隔を設けなくて配置することが可能であるが、換気対策、練習時以外でのマスクの着用など感染防止対策を講じること。

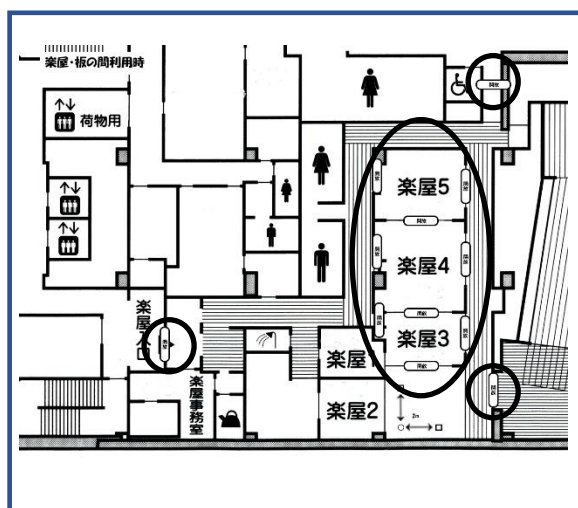
【換気対策について】

- ・交流ロビーや多目的ルーム・能楽堂楽屋周辺入口の扉は常時空けておくこと。（推奨）

参考《多目的ルーム》

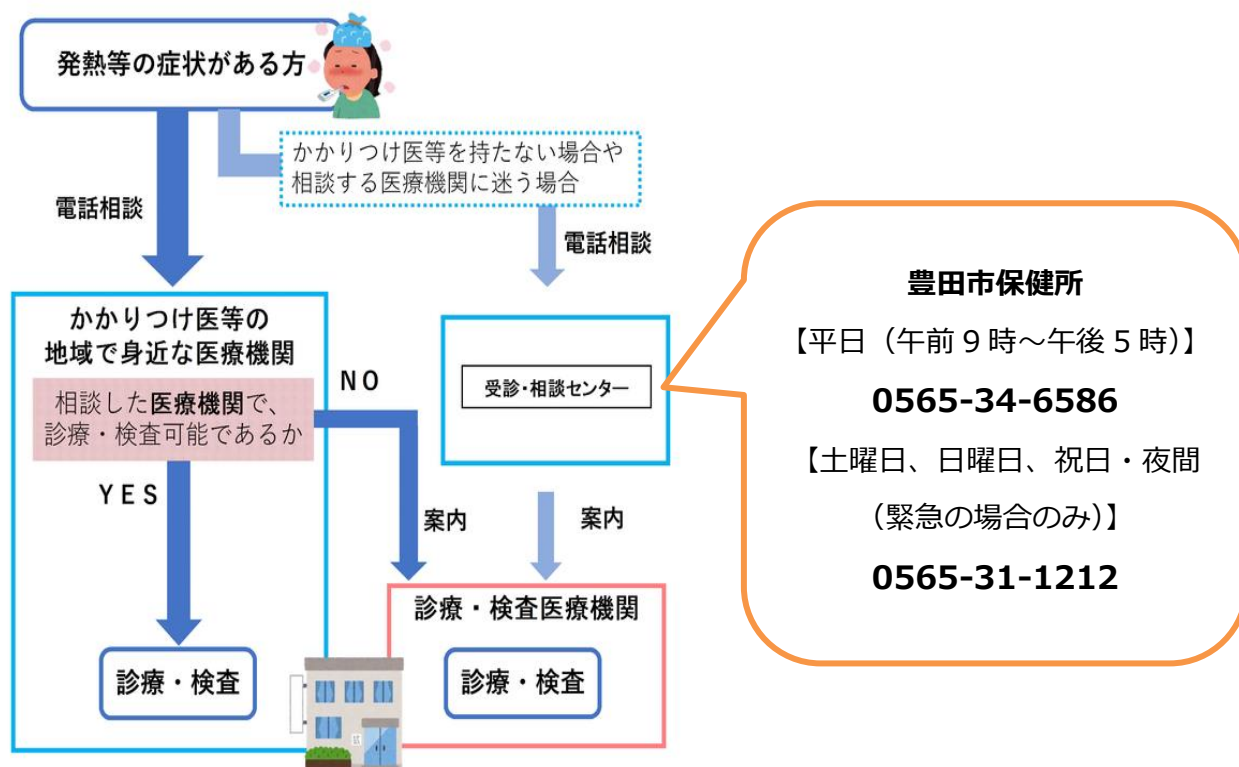


参考《板の間》



《能楽堂楽屋換気場所》

（楽屋入口 2 カ所、楽屋ふすま、鏡の間扉）



豊田市保健所以外の受診・相談センターについては、「愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト」をご確認ください。

来場者連絡先登録フォーム

新型コロナウイルス感染症対策 来 場 者 連 絡 先 登 録 フ ォ ー ム ～感染症を予防して安心のひと時のために～	
新型コロナウイルス感染者が発生した時、 皆様に連絡をする場合がありますのでご協力をお願いいたします。	
お客様情報	
フリガナ	
お名前	
お電話番号	— —
1回目 ご利用のお座席のご記入をお願いします。(背もたれ上部の数字をご記入ください) _____ 列 _____ 番	
2回目 ご利用のお座席のご記入をお願いします。(背もたれ上部の数字をご記入ください) _____ 列 _____ 番	
<個人情報責任をもって管理いたします> この記入票は、万一、本公演に関係したすべての方の中から新型コロナウイルス感染症 患者が発生した場合、濃厚接触者となる方にご連絡し、感染拡大防止の目的でのみ使用さ せていただくもので、必要に応じて保健所等に情報提供する場合があります。それ以外に は使用は致しません。また個人情報については責任をもって管理いたしますので安心く ださい。なお、この情報は公演終了からおおむね1カ月後に破棄いたします。	
ご協力ありがとうございました	
開催日： 年 月 日 () 公演名： 問合せ先：	

来場者確認票				
※必ずご記入ください。				
来場者やスタッフが「新型コロナウイルス感染症」を発症した場合の経路確認として記入お願い します。個人情報については責任をもって管理し、目的以外で利用いたしません。				
氏 名				
電話番号				
※座席の移動があった場合はその都度記入ください。				
	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目
利用した座席番号	列 番	列 番	列 番	列 番
利用時間	～	～	～	～
※お帰りの際に、スタッフにお渡しください。				

新型コロナウイルス対策 消毒部位リスト

新型コロナウイルス対策 消毒部位リスト【◎：接触とても多い ○：接触多い △：普通】

施設	接触部位	接 触 頻 度	消毒液	消毒者			備考
				主 催 者	職 員	清 掃 員	
コンサートホール	ホワイエ	10階入口扉	アルコール	○		○	※2
		手すり	アルコール	○		○	※2
		コインロッカー	アルコール	○		○	※2
		長机	アルコール	○			※2
		パイプ椅子	アルコール	○			※1 ※2
		掲示スタンド	アルコール	○			
		パーテーション	アルコール	○			
	客席	背もたれ	アルコール	○	○		※1 ※2
		ひじ掛け	アルコール	○	○		※2
		手すり	アルコール	○	○		※2
		扉	アルコール	○		○	※2
	ステージ	マイク類	マイベット		○		※2
		講演台・司会台	アルコール	○			※2
		平台・合唱台	アルコール	○			
		オケ椅子・ピアノ椅子	アルコール	○			
		譜面台（奏者用・指揮者用）	アルコール	○			
		ピアノ	中性洗剤溶液		○		※2
		パイプオルガン	中性洗剤溶液		○		
	アーティストロビー	電気スイッチ	アルコール	○		○	
		机	アルコール	○			
		椅子	アルコール	○			
		ソファ	アルコール	○		○	※1
		内線電話	アルコール	○		○	
		エレベーターボタン	アルコール			○	
		ドアノブ	アルコール	○		○	
	楽屋・控室・リハ室	電気スイッチ	アルコール	○		○	
		化粧台	アルコール	○			
		机	アルコール	○			
		椅子	アルコール	○			
		ソファ	アルコール			○	※1
		ハンガー	アルコール	○			
		内線電話	アルコール	○		○	
		リモコン	アルコール	○		○	
		冷蔵庫	アルコール	○		○	
		洗面所蛇口	アルコール			○	
		給湯室備品	アルコール				※3貸出不可
		スリッパ	アルコール	○			
		カーテン	アルコール			○	※1
		コインロッカー	アルコール	○		○	
		ピアノ	中性洗剤溶液		○		

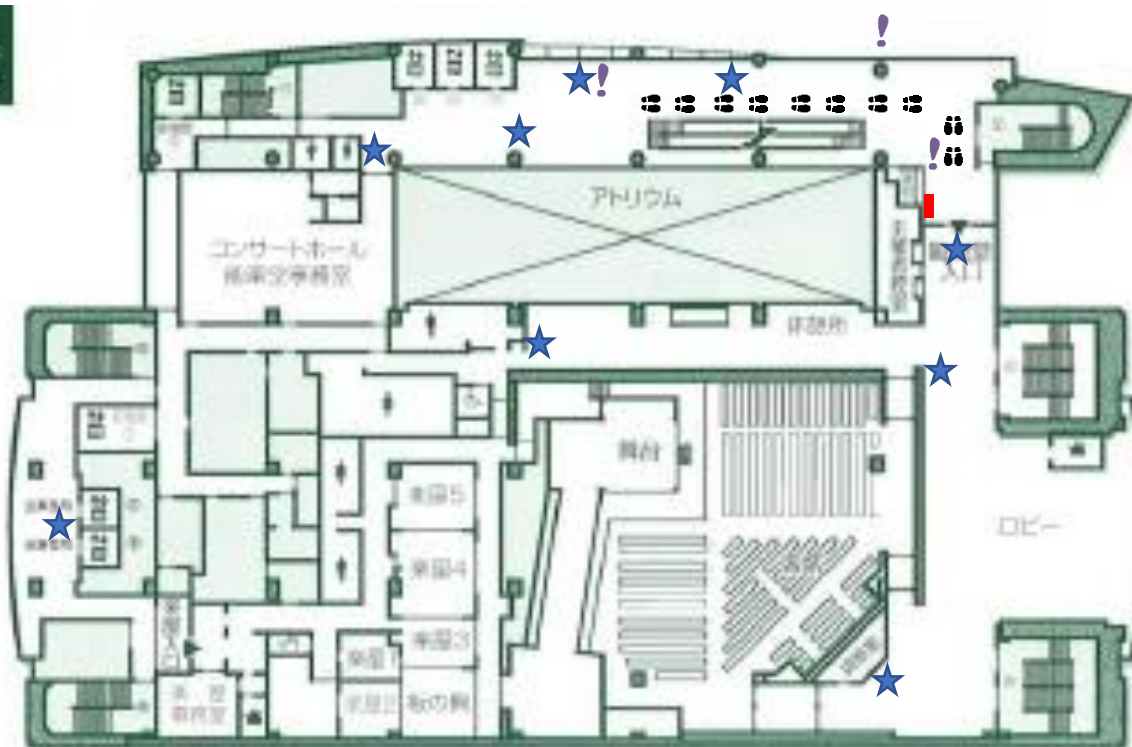
- ※1. 布材質のものはウイルスの生存期間が1時間～2日のため、消毒不要場合があります。当日担当の職員と協議ください。
- ※2. 来場者が入れ替わる2部構成以上の催しは、接触頻度の高い箇所及び、客席内の消毒を入れ替え時間内に実施してください。
- ※3. 給湯室の備品の湯呑などは貸出しを禁止します。（電気ポット、お盆は使用可能）使用後は流し台を含めて消毒ください。

新型コロナウイルス対策 消毒部位リスト【◎：接触とても多い ○：接触多い △：普通】

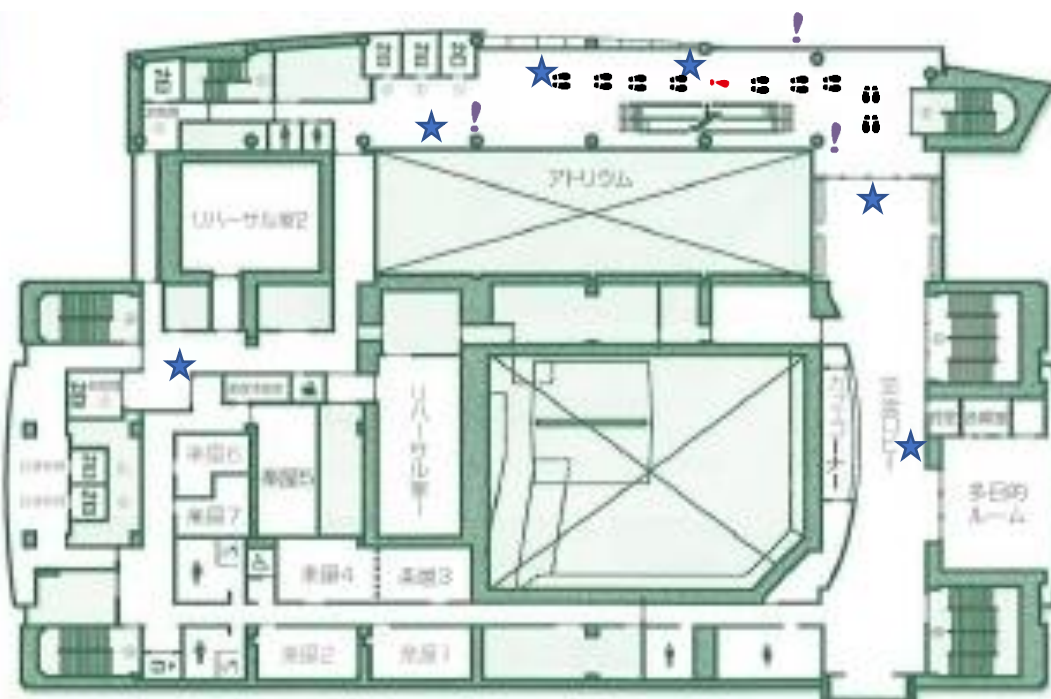
施設	接触部位	接 触 頻 度	消毒液	消毒者			備考
				主 催 者	職 員	清 掃 員	
多 目 的 ル ーム	9階入口扉	◎	アルコール	○		○	
	交流ロビーテーブル	○	アルコール	○		○	※2
	長机	◎	アルコール	○			※2
	パイプ椅子	◎	アルコール	○			※2
	掲示スタンド	○	アルコール	○			
	パーティション	○	アルコール	○			
	多目的ルーム扉	◎	アルコール	○		○	※2
	電気スイッチ	◎	アルコール	○		○	※2
	内線電話	△	アルコール	○		○	※2
	マイク	△	マイペット		○		※2
	ピアノ	○	中性洗剤溶液		○		※2
能 楽 堂	ロ ビ ー	8階入口扉	△				装飾品のため消毒液不可（清掃のみ）
		長机	○	アルコール	○		
		パイプ椅子	○	アルコール	○		座面は拭き上げ
		立札机					撤去
		立札椅子	◎	アルコール		○	
		ソファ	◎	アルコール			特注品のため消毒液不可（清掃のみ）
	客 席	背もたれ	◎	アルコール	○	○	※1 ※2
		ひじ掛け	◎	アルコール	○	○	※2
		手すり	◎	アルコール	○	○	※2
		扉	◎	アルコール	○	○	※2
	板 の 間 ・ 楽 屋	玄関扉	○	アルコール	○		○
		靴べら	○	アルコール	○		
		ベンチ	○	アルコール			○
		スリッパ	△	アルコール	○		
		電気スイッチ	◎	アルコール	○		○
		襖	△	アルコール			○
		二月堂机	○	アルコール	○		
		給湯室備品		アルコール			※3貸出不可
		食堂テーブル	△	アルコール	○		
		食堂椅子	△	アルコール	○		
	舞 台	マイク	△	マイペット		○	※2
		その他					要相談
ト イ レ		扉	◎	アルコール			○
		ペーパーホルダー	◎	アルコール			○
		水洗レバー	◎	アルコール			○
		身障者用トイレ開閉スイッチ	△	アルコール			○
ア ト リ ウ ム ・ そ の 他		エスカレーター手すり	◎	アルコール			○
		EV4-6号機ボタン	◎	アルコール			○
		鍵付き傘立て	△	アルコール			○
		喫煙所扉	△	アルコール			○
		EV1・2号機ボタン	○	アルコール			○

※4. 清掃員は、巡回の清掃を定期的に行っていますが催しの時間に実施するとはかぎりません。

8階

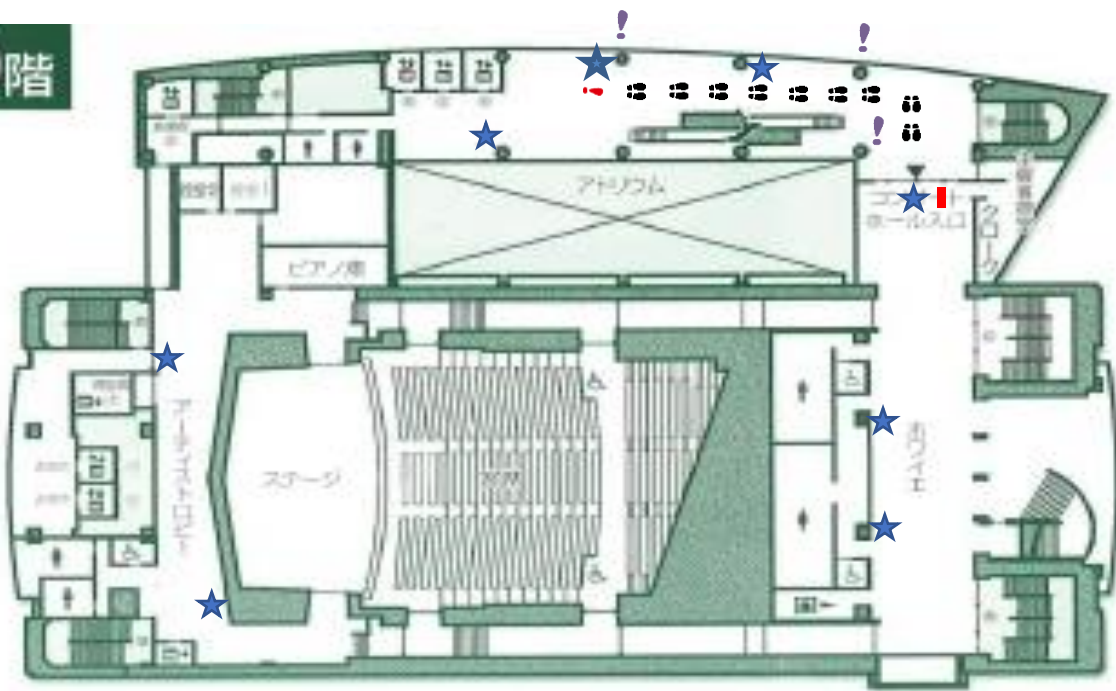


9階

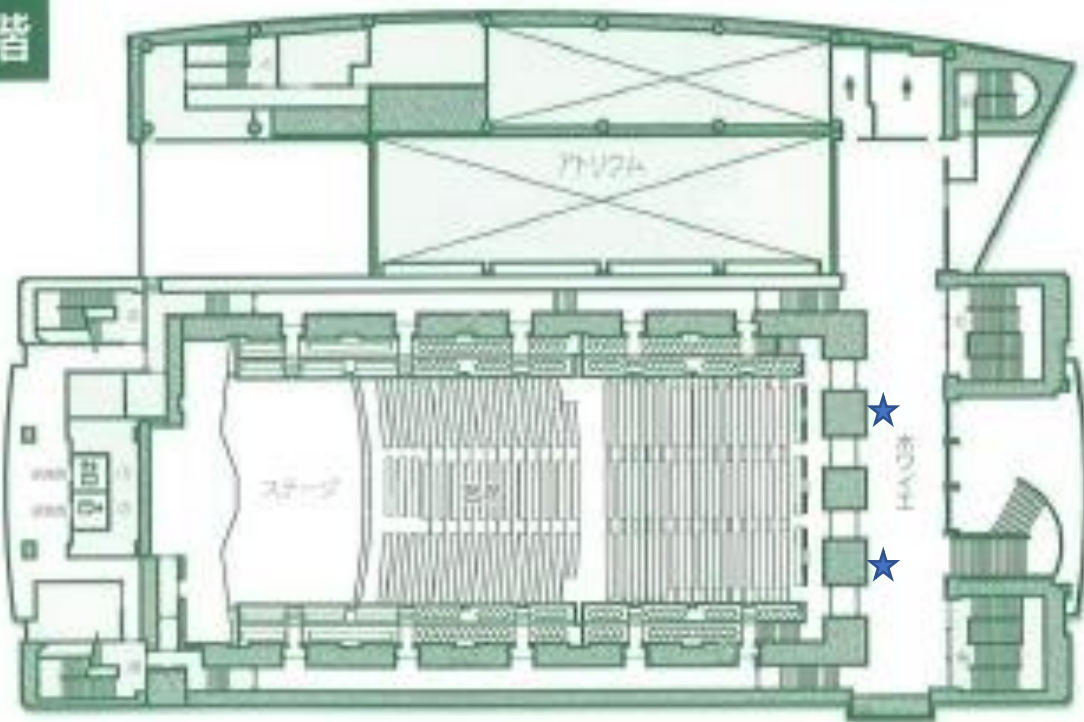


- ! 感染症対策ポスター
- ★ 手指消毒用スプレー
- サーモグラフィー

10階



11階



- ! 感染症対策ポスター
- ★ 手指消毒用スプレー
- サーモグラフィー

別紙 9

関係者検温・体調管理表

[illegible]